



大仙市集落営農・法人化支援センター所長 藤澤 壽一



大仙市農林商工部長 藤原 薫

問い合わせ手通信

第15号
平成23年
1月発行

大仙市集落営農・
法人化支援センター
大仙市太田町
横沢字堀ノ内46
TEL 0187-88-1920

ラインナップ

- 年頭のご挨拶を申し上げます。
- 大仙農業元気賞を3名の方が受賞しました。
- 集落営農組織連絡協議会で秋期研修を開催しました。
- 認定農業者を対象にパソコン簿記講習会が開催されました。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
皆様には、日頃から農林業振興にご支援、ご協力をいただきまして、
衷心より感謝申し上げます。

昨年は米消費量の減退に伴う米在庫量の増加などにより米価が大きく下落したことに加え、天候不順や夏の猛暑の影響により、品質低下を伴つた六年ぶりの不作となりました。戸別所得補償モデル対策事業は実施されたものの、農家の皆様方には大変な一年でありましたし、農業を基幹産業とする大仙市にとりましても、厳しい一年であります。

このような状況にあって、さらに、国では環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への加入検討を表明しており、仮に加入となつた場合、委員をお願いし、現在新たな農業振興計画を策定しているところです。このところの農業政策の変化や経済の変化、そして気象の変化などを踏まえ「変化に耐え得る強い農業の実現」をテーマに三月までには計画を仕上げることとなつております。これを踏まえて、新年度から新たな施策を実施し、積極的に農業振興に努めてまいります。

これまで認定農業者や農業法人、集落営農組織の組合員の皆様方にお届けしている「問い合わせ手通信」は、様々な農業施策の内容や問い合わせの皆様方への支援事業などを伝えるために、平成二十年の一月より発行し今年で四年目となりました。今後も皆様の農業経営の一助となりますよう、大仙市集落営農・法人化支援センターの指導員が中心となり、新たな農業施策、各種研修会などの情報を伝えてしまいたいと思います。

本年も、職員一同、関係機関と一体となり大仙市農業の発展に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

皆様におかれましては幸多き一年になりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成二十三年の輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は激動の年続きと、天候不順による農産物の不作、品質の低下、併せて米価の下落と農業者にとってかつてない厳しい年となりました。農政では二十三年度からの戸別所得補償制度の本格実施に向けて、事業の効果や円滑な運営の検証のため、二十二年度に「戸別所得補償モデル対策」が実施されました。この対策の補償により一息つくことができましたが、農業を搖るがすTPPの加入検討など政策上で農業者にとっては気の抜けない大変な年になりました。

大仙市集落営農・法人化支援センターでは、激しく変貌する農業政策に対して全農家が効率的かつ安定した経営に取り組めるよう、本年も県や農協の協力をいただきながら、制度の説明や情報提供のほか、組織作りと法人化に向けての支援を強化し、大仙市農業の問い合わせ手が政策に対応できるよう努めています。

戸別所得補償制度の本格実施に向けた要求予算の決定を期待しながら、

波騒は世の常である。波にまかせて泳ぎ、上手に雑魚は歌い雑魚は踊る
けれど誰が知らう百尺下の水の心を 百尺下の水の深さを

吉川英治 「宮本武蔵」の一節より

農業も我々も波を越えなければならない。やる気の中に光明は己ずと輝いてくる。
それぞれの将来は、今この瞬間ここにある。今ここで頑張らず、いつ頑張る。



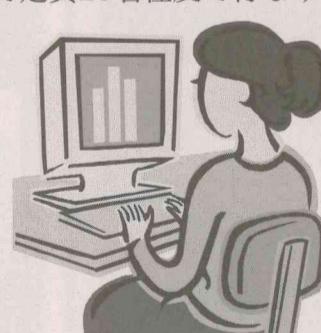
認定農業者を対象に、 パソコン講習会が開催されました

平成22年度パソコン農業簿記講習会が11月15・16日、25・26日の2回開催されました。

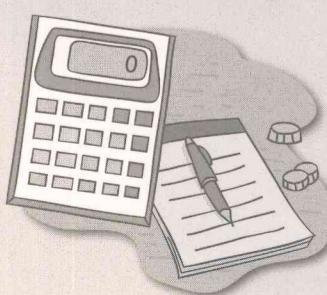
これは、秋田県農業会議の主催によるもので、認定農業者やそのパートナー（配偶者や後継者）を対象として定員20名程度で行なう予定でしたが、申込者が多数となり2回に分けて行なわれました。

内容は、パソコン簿記ソフト（ソリマチ社「農業簿記8」）を使用して行われ、日々の記帳入力から、税金申告の決算処理まで講習が行われました。

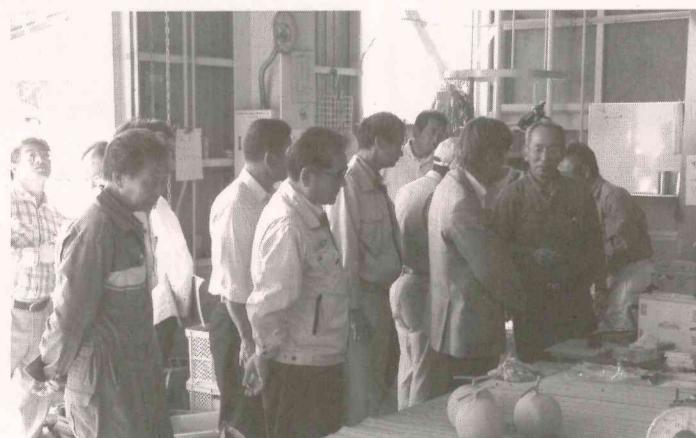
また、税務署職員による電子申告納税システム（e-Tax）の説明が行なわれました。



講習会の様子。
皆さん熱心に受講されていました。



集落営農組織の代表者らが、秋田県立大学の長濱教授を交えて法人の経営について研修を行ないました。法人の経営内容や組合員への利益配分の方法、地代・作業料金の設定状況など、多くの意見交換が行なわれました。



← 主に秋収穫メロンと小菊について栽培状況などの話を聞いた後、現地研修をして理解を深めました。

“集落営農組織連絡協議会”の秋期研修会

大仙市集落営農組織連絡協議会（会長：四ツ屋第一集落営農組合長 草薙 雄）では、秋期研修会を開催しました。今回の研修会のテーマは「法人の経営について」として、大仙市大曲にある「農事組合法人かわのめ」を会場に行なわれました。

第3回 大仙農業元気賞に3人を表彰

大仙市農業の牽引者として期待!!

大仙市内に居住する若手農業者で、新たな農業に取り組み、地域や関係団体等のリーダーとして、将来の大仙市農業を牽引する方々を表彰するため制定した『大仙農業元気賞』も今年で3回目を迎えました。

今回の受賞者は、農業関係団体等からの推薦のあった方々について10月6日に開催された選考委員会（会長：藤澤壽一大仙市集落営農・法人化支援センター所長）を経て、次の3名に決定し、12月2日に開催された表彰式で表彰をしました。



いとうちあき
伊藤千秋さん
(大仙市南外 昭和58年生)

大曲農業高校を卒業後、フロンティア農業者研修を経て平成16年就農。花き（トルコギキョウ）とアスパラガスを担当。

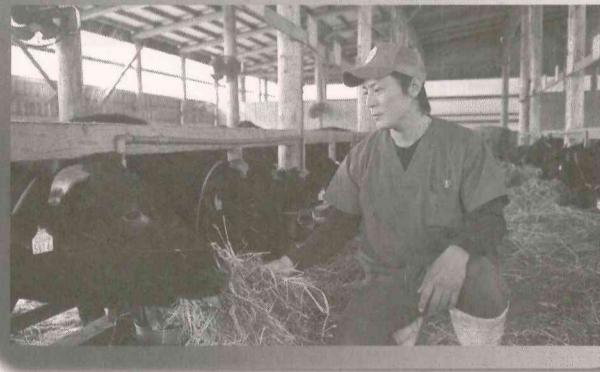
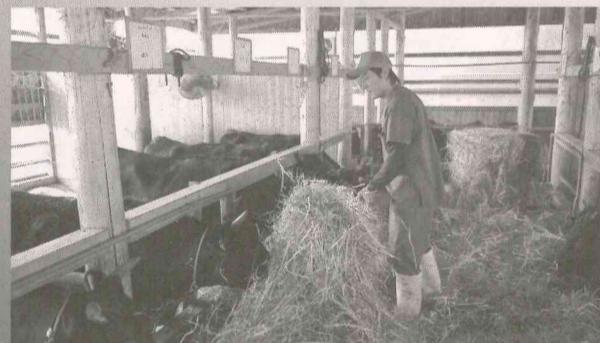
就農希望の高校生を受け入れ経営の状況を紹介するなど就農啓発に努め、都市消費者との交流事業では農作業体験の場を提供するなど積極的な活動を行なっています。



さとうたくみ
佐藤匠さん
(大仙市横堀 昭和58年生)

大学を卒業後、フロンティア農業者研修を経て平成20年に就農、研修中に家畜人工授精師、平成21年には家畜受精卵移植師の資格を取得。

受精卵生産やそれを用いた優良雌牛の積極的な自家保留のほか、自分が受講した農業者研修の研修生の受け入れなど、畜産における後継者の育成にも取り組んでいます。



たむらたつのり
田村辰徳さん
(大仙市太田町中里 昭和58年生)

高校を卒業後、フロンティア農業者研修・太田農業振興情報センター農業技術研修を経て平成16年に就農し、複合経営を営む田村家の中で花き（菊）を担当。

パイプハウス16棟で多様な菊を栽培し、雪に強い大型ハウス6棟で春の雪解けを待たずに作業に取り組めるようにしています。



〈表彰式の様子〉



多数の来賓が出席して行なわれた表彰式



表彰式に臨む3氏と式辞を述べる栗林市長

佐藤匠氏 □ 伊藤千秋氏 □

第3回 大仙農業元気賞表彰式

第3回 大仙農業元気賞表彰式



田村辰徳氏 □